



ふぁみさぽ通信

第52号
平成30年8月発行
江戸川区
ファミリーサポート・センター
☎ 03-6231-8470

協力会員向け スキルアップ講座

「子どもの事故防止」を開催しました

協力会員の方々にご参加いただき、講義とグループワークを行って事故の予測や予防策を話し合いました。参加した方から「皆さんとお話しできて勉強になった」「活動や子育てに役立てたい」と、うれしい感想をいただきました。

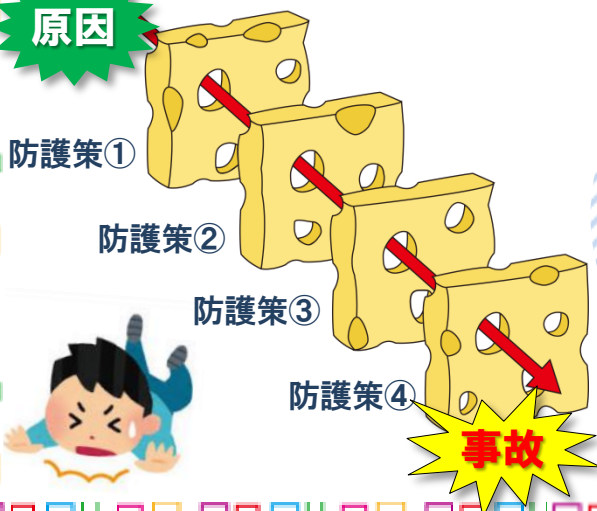
～ヒヤリハットをなくそう！～

ヒヤリハット…重大な災害や事故には至らないものの、直結してもおかしくない一歩手前の事例の発見。文字通り、突発的な事象やミスにヒヤリとしたり、ハッとしたりするもの。



潜在的危険性が存在しても、通常は何重もの防護のために事故には至らない。しかし完璧な防護は存在せずほころびや穴があり、全ての防護の穴を貫通してしまったとき初めて事故が発生する。

原因



事故にならないようチーズの枚数＝防護策を増やす！
そのためには…

ヒヤリハットの「認識」と「共有」が大切

- * ヒヤリハットは身近に起こるもの。ある人が起こすということは、自分や他の人も起こしてしまうことを認識する。
- * 「自分じゃなくてよかった」「もしこれが事故に繋がっていたら」ではなく「もしこの事例を知らなかったら大変だった」と考える。
- * ヒヤリハットが起こればセンターに報告。事例報告が潜在的危険性の気付きとなり、全体の事故防止に繋がる。

ご案内

スキルアップ講座「緊急救命講習」



江戸川消防署瑞江出張所の方を講師にお招きし、心肺蘇生法やAEDの実技講習を行います。皆様のご参加お待ちしております。

9月18日(火) 10:00～11:30

～予約受付中～

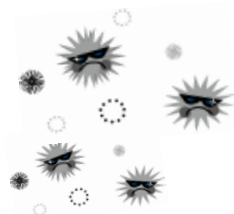
電話：03-6231-8470

会場：子ども家庭支援センター 会議室（2F）

※ 保育あり（先着順／定員制）

※ 動きやすい服装でお越しください。





三大夏風邪にご用心!!



6～8月は子どもを中心に「三大夏風邪」と呼ばれる「咽頭結膜熱（プール熱）」「手足口病」「ヘルパンギーナ」が流行する時期です。三大夏風邪は大半は子どもがかかるものですが、大人がかかることもあります。大人の場合、高熱が出たり症状が強く出て重症化してしまうこともあります。症状の特徴や予防方法をご紹介しますので、親子で風邪対策に取り組みましょう。

◆◆特 徴◆◆

	プール熱	手足口病	ヘルパンギーナ
症状	• のどの痛み • 目の充血 • 目やに • 39℃前後の発熱	• 口の中や手のひら足の裏に水疱性の発疹が出る • 発熱	• 突然の39℃を超える高熱 • のどの痛み • のどに小さい水疱が出る
感染経路	咳やくしゃみで飛沫したウィルスが口に入る ウィルスが付いた手やタオルに触れる 塩素消毒が不十分なプールに入る		
潜伏期間	5～7日程度	3～6日程度	3～6日程度

◆◆予防方法◆◆



いずれもウィルスによる風邪のため、予防接種や特効薬がありません。

日ごろから「手洗い」、「うがい」をすること、感染している人にあまり接触しないことが大切です。

また、感染者の口や便からウィルスが排出されるため、幼稚園、保育園など集団生活ではタオルの共用はせず、自分専用のタオルを使うようにしましょう。

おもちゃによだれや鼻水がついていることがあるので貸し借りはやめましょう。

◆◆風邪にかかってしまったら◆◆

まずは主治医に診てもらい、のどの痛み、熱など症状に応じた薬を処方してもらいましょう。

のどの痛み、高熱で食事や水分が十分に取れず脱水症状になることがあります。こまめに水分を取るように注意しましょう。食事は刺激が少なく柔らかく飲み込みやすいものしましょう。（お豆腐、冷やしたスープなど）

症状が治まっても4週間程はウィルスが排出されるので、二次感染を防ぐため手洗いを徹底しましょう。便からもウィルスが排出されるので、小さいお子さんの場合はおむつの取り扱いにも注意が必要です。密封して捨てましょう。おむつを交換したあとしっかり手洗いをしましょう。

◆◆手洗いの仕方◆◆

- ① 流水で手を洗う
- ② 石鹸を手に取りしっかり泡立てる
- ③ 手のひら、手の甲、指、指の間、指先をしっかりと洗う
- ④ 流水で石鹸を十分に洗い流す
（②～④を2回繰り返すと効果的！）
- ⑤ 乾いた自分専用のタオルで手を拭き乾燥させる
- ⑥ アルコールを手全体に擦り込み消毒する





「協力会員向け再受講」のご案内



更新した協力会員、両方会員の方を対象に「協力会員向け 再受講」を実施しています。お申し込みは随時受付しておりますので、電話で03-6231-8470（ファミリー・サポート・センター）までご連絡ください。

対象の日時で参加の都合がつかない場合も、お手数ですがセンターまでご連絡いただくようお願いいたします。

初めての土曜日開催もございますので、この機会に是非ともご参加ください！

対 象 者 (会員番号下5桁)		日 程 *どちらか一日にご参加ください*	
18165~41893	①	9月12日(水)	10:00~11:30
	②	10月26日(金)	13:00~14:30
10002~41893 (未参加の方)	③	11月20日(火)	10:00~11:30
	④	12月1日(土)	10:00~11:30



「援助活動実績報告書」に関するお願い

《提出期限：活動月の翌月10日まで》

提出いただいた「援助活動実績報告書」は、センターで時間数や援助活動の内容などを集計し、そのデータはファミリーサポート事業をはじめ、今後の子育て支援施策に役立てられます。引き続き、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

— 提出前にもう一度ご確認ください —

- 日にち、時間、活動内容（番号）報酬額は漏れなく記入してありますか？
- 兄弟姉妹の活動について、1人1行で記入されていますか？
- 報酬は正しく計算されていますか？
(月~土 8~19時 800円、それ以外の時間、日曜、祝日、年末年始 900円)
- 2、3枚目の協力会員・依頼会員用はご本人のお手元に保管してください。



協力会員として子育てを支援しませんか？

ファミリーサポート事業では、お子様の幼稚園・保育園の送迎や、帰宅後の一時預かりといった援助活動を行っています。「ご自身の子育てが落ち着いた」「子どもが好き」という方、協力会員になって地域の子育ての手助けをしませんか？ 空いているお時間で無理なく活動していただけます。

ファミリー・サポート・センターでは、協力会員として活動するためのファミリーサポート説明会・基礎研修会を実施しています。皆様のご参加お待ちしております！

◇ ファミリーサポート説明会

ファミリーサポートの仕組みや約束ごとなどを詳しくお話しします。
ファミリーサポートに興味のある方もご参加いただけます。



◇ 基礎研修会

お子さんの保育や発達など、協力会員として活動していただくための基礎的な内容の講義です。
すでに協力会員さんとして活動していて「改めて受講したい」という方もどうぞ！

【講義の内容】

＊「保育の心/子どもの世話」 ＊「心の発達とその問題」
(講師：子ども家庭支援センター 子育て心理相談員 他)

会 場：子ども家庭支援センター会議室（ファミリーサポート説明会・基礎研修会ともに）

9月 3日 (月)	ファミリーサポート説明会 10時00分～11時35分	基礎研修会 12時20分～15時20分
10月 15日 (月)	基礎研修会 9時30分～12時30分	ファミリーサポート説明会 13時15分～14時50分
11月 12日 (月)	ファミリーサポート説明会 10時00分～11時35分	基礎研修会 12時20分～15時20分
12月 3日 (月)	基礎研修会 9時30分～12時30分	ファミリーサポート説明会 13時15分～14時50分

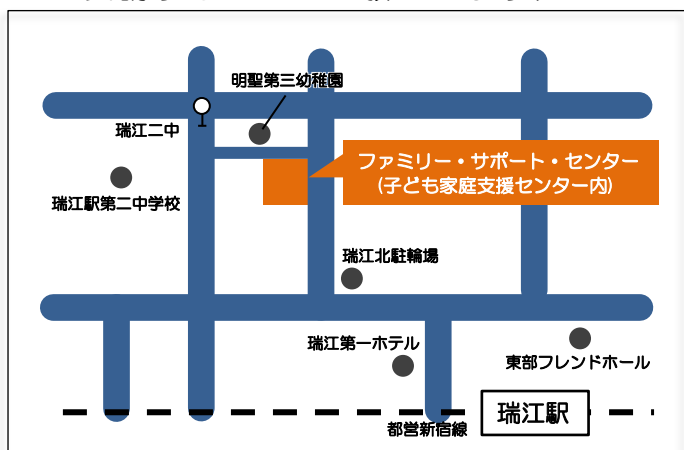
受講希望の方は、ファミリー・サポート・センターに電話（6231-8470）でお申込みください。

受講時に、お子さんの保育もできます。（定員あり・申込制）
保育の申込み受付は、受講月の前月21日（日・祝日の場合は直後のセンター開所日）の9:00からです。（お子さんと一緒に受講することはできません。）

説明会と基礎研修会を別々の日程で受講することもできます。（3か月以内にすべて受講するようにお願いします）

会員数（平成30年6月30日現在）

依頼会員	3,000人
協力会員	394人
両方会員	91人



江戸川区ファミリー・サポート・センター
(江戸川区ファミリーサポートの会)

〒132-0011 江戸川区瑞江 2-9-15

電話：6231-8470 FAX：6231-8171

月曜日～土曜日 9時00分～17時00分

(日曜、祝日、年末年始はお休みです)